



IRIS BUSINESS

インタビューや事例記事、アイリスオーヤマの新製品情報など
ビジネスにかかわる旬の情報、話題を取り上げます。

Information

2024.12
Vol.28

深化と拡張

[SPECIAL REPORT]

歴史を継承し昇華させる
新たな「知の拠点」

青山学院大学 マクレイ記念館 様(東京都)

Webマガジンは
こちら



写真：青山学院大学 マクレイ記念館 様(東京都)

IRIS OHYAMA

01 光のある風景
「白金青い池」

02 NEXT ERA of Business

蛍光灯はもう買えない!?
2027年末 蛍光灯の製造・輸出入禁止問題

03 SPECIAL REPORT

青山学院大学 マクレイ記念館 様(東京都)
歴史を継承し昇華させる新たな「知の拠点」

05 INTERVIEW

昭島市本庁舎 様(東京都)
照明のLED化と無線制御システム「LiCONEX」の導入で
電気代26%減を実現

07 CASE STUDY

■社会福祉法人創生会 様(福岡県)
清掃ロボットの導入で、業務転換に成功。
人手不足とコスト削減を一気に解決

■株式会社ニシムタ 様(鹿児島県)
プラズマ除菌システム導入で多発していたカビの増殖を抑制

■和歌山県和歌山市教育委員会 様(和歌山県)
アイリスモデル電子黒板で教育現場のICT化を促進

■株式会社ヒマラヤゴルフ 福岡粕屋店 様(福岡県)
売場の雰囲気に合わせてたし器で
快適な空間とお客さまの満足度アップに

09 NEW PRODUCTS & TOPICS

エネルギーマネジメントシステム事業に本格参入
温室効果ガス排出削減量、政府目標の7%に貢献

スマートフォンから照明環境の設計・設定が可能
省エネできる「LiCONEX LiTE」を発売

清掃業務の効率化を実現する
初の自社製造法人向け水拭きロボット「BROIT」

清掃業務のDX化を支援
中小企業省力化投資補助事業が開始

滞在時間の見える化と車両管理の自動化により
物流2024年問題の課題解決に

14 IRIS CHITOSE News !

キリンビール株式会社 北海道千歳工場(北海道)
マグネットスペースでコミュニケーションを活発に



まるで別世界のような景観で、世界的にも人気の観光スポット「白金青い池」。十勝岳の防災工事の際、美瑛川に置かれた堰堤に川の水がたまってできました。池の水が青色に見えるのは、異なる成分を含む複数の河川の水が混ざり合い、光を乱反射することによります。

四季折々で異なる表情も魅力的な「白金青い池」では、新緑の時期には青い池に太陽の光とカラムツが反射し幻想的な世界が広がります。さらに11月下旬からは凍った池にライトアップも行われ、日中とは違った幽玄な雰囲気を楽しむことができます。

白金青い池

[所在地]

北海道美瑛町白金

[アクセス]

●バス：JR美瑛駅から約25分「白金青い池入口」下車

●車：旭川から／国道237号で約26km、約40分

札幌から／札幌ICから道央道で旭川鷹栖ICへ、
国道48号-国道12号、国道237号で
約166km、約2時間30分

富良野から／国道237号で約34km、約40分

蛍光灯はもう買えない!? 2027年末 蛍光灯の製造・輸出入禁止問題

2023年10月末に開催された水俣条約の第5回締約国会議で、直管蛍光灯の製造と輸出入を2027年末までに禁止することが決定されました。一部の蛍光灯(電球形蛍光灯・コンパクト形蛍光灯)は、すでに2025年末で製造・輸出入の禁止が決定していたため、一般照明用のすべての蛍光灯の製造が終了することになります。

製造・輸出入が 禁止された背景

水銀に関する水俣条約とは、水銀の一次採掘から貿易、水銀添加製品や製造工程での水銀利用、大気への排出や水・土壌への放出、水銀廃棄物に至るまで、水銀が人の健康や環境に与えるリスクを低減するための包括的な規制を定める条約です。水俣条約の締約国会議では、これまでも蛍光灯についてたびたび議論されてきました。すべての蛍光灯の製造や輸出入が禁止された背景には、蛍光灯に使用される水銀による健康や地球環境への悪影響が懸念されたことが深く関係しています。

蛍光灯の入手が難しくなる!?

2027年末までに蛍光灯の製造は終了するため、買い替えが必要になっても購入できなくなる可能性が高くなります。国内の大手メーカーでも、水俣条約の締約国会議の影響を受けて蛍光灯の生産を順次終了して

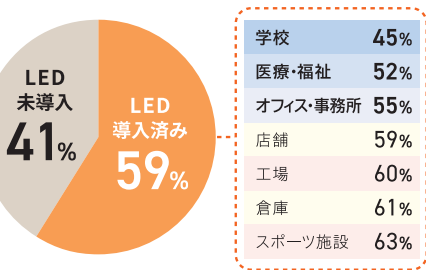


おり、販売本数と在庫数は年々減少していると予想されます。買い置きなど需要の高まりから販売価格も上昇すると考えられます。

LED照明普及の現状

「省エネ・長寿命」で広く知られているLED照明ですが、実際にどれだけ普及しているのでしょうか。施設によって普及率が大きく異なり、多くの方が働くオフィス・事務所ではLED照明の導入が2024年現在、約55%程度

■非住宅(屋内)のLED化率
※当社調べ、2024年現在。



にとどまっています。最もLED化率が低いのが学校・教育機関で45%、最も進んでいるスポーツ施設でも63%となっており、日本の多くの施設(住宅を除く)でいまだに蛍光灯などの従来光源が使用されていることが分かります。こうした状況のため、2027年に近づくにつれて蛍光灯の需要が高まると推測され、LEDへの切替工事も増加すると考えられます。蛍光灯が切れてから交換する管球が手に入らない…ということが無いようにあらかじめ対策を打ちましょう。

アイリスオーヤマではLED導入のさまざまな選択肢をご用意しています。お客さまへのヒアリングから施工、導入後のサポートまで一貫して対応。「短工期で導入したい」「消費電力を削減したい」「働きやすさと省エネを両立したい」など、多様なニーズに合わせて最適・最善な方法をご提案します。お気軽にご相談ください。

2027年問題をさらに詳しく知りたい方はこちら
詳細資料をアイリスオーヤマWebサイトでダウンロードできます。



- 3年後に蛍光灯が製造禁止…? 2027年問題について
- LED照明の導入フロー・メリット・注意点
- 無線制御システム「LiCONEX LiTE」の省エネ効果と実例

[資料ダウンロード方法]

右記Webページの「資料ダウンロード」より、フォームに必要事項を記入し送信してください。ご希望の資料のダウンロードが可能です。

応募フォームはこちら





青山学院大学 マクレイ記念館 様（東京都）

歴史を継承し昇華させる新たな「知の拠点」

変化を続ける余地を残した「進化する図書館」

2024年で創立150周年を迎えた青山学院 様。その記念事業の一環として、「マクレイ記念館」が開館しました。青山学院の3つの源流の一つ「美會神学校」の設立者で初代院長ロバート・S・マクレイを記念し、その名を冠しています。

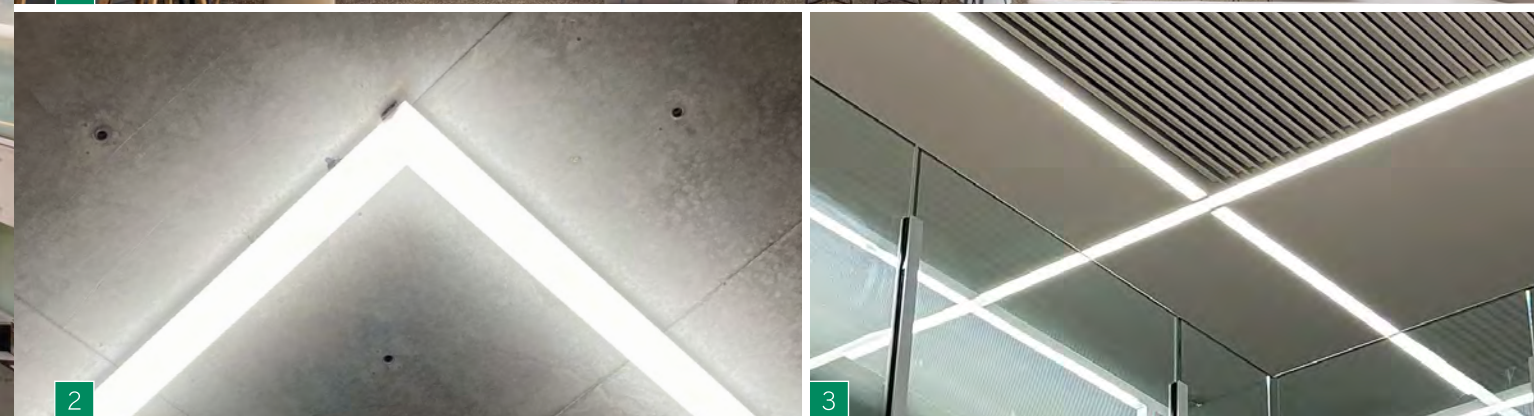
本施設には、約150万冊を収蔵可能な図書館本館、最先端のICTを学べる情報メディアセンター、学術的な文章執筆をサポートするアカデミックライティングセンターが設けられています。「進化する図書館」というコンセプトのもと、社会の変化とともに多様化する学生のニーズに応えられるよう、利用目的に応じたゾーニングや建築技術を導入。デジタルの学び、書籍による学び、さらに対人コミュニケーションを介した

学びを有機的に進めることができます。

マクレイ記念館が新たな「知の拠点」として教育研究の中核施設の一つとなり、学生にとってのハブとなることで、今まで以上に豊かな「青学らしさ」が育まれることが期待されています。

環境に配慮した先進的な空間設計

施設の象徴となっているのが、中央部の閲覧スペースです。フロアごとに少しずつ吹き抜けや階段の位置をずらすことで、リズム



- 1 情報メディアセンター地下1階のラウンジに、LED一体型ベースライト「ラインルクスedge 直付型」を納入。遊び心のある自在なデザインで、学びと発想を誘発するきっかけに。
- 2 直付型は天井面も光る配光設計なので、空間全体が明るい印象になる。端部まで均一に光るため、継ぎ目が目立ちにくい。
- 3 吹き抜け部の天井には、LED一体型ベースライト「ラインルクスedge 埋込型」を納入。少ない開口面積で交差部分も自然なラインになっている。

と開放感のある空間としながら、吹き抜けが環境配慮という観点からも大きな役割を果たしています。春と秋には吹き抜け部分の上昇気流を活用した「自然換気システム」を用いることで、空調熱源をほぼ使わずに館内を約26℃以下に保つことが可能。その他にも井戸水の空調利用や屋上緑化といったさまざまな工夫で「ZEB Ready^{*1}」を実現し、大学図書館単体としては日本で初めてとなる公的認証である「BELS認証^{*2}」を取得しました。

また、全館の照明はLED照明となっています。ZEB Readyの一環としてタスクアンビエントが採用され、手元は明るく、空間全体は必要最低限の照度にするによりエネルギー利用の効率化を図っています。さらに、人の動きを感知して自動で点灯・消灯する人感センサー制御や、時間帯によって照明の明るさを調節できるスケジュール制御も取り入れ、さらなる省エネを可能にしています。

新たな発想を後押しする照明デザイン

アイリスオーヤマは、情報メディアセンターにLED一体型ベースライト「ラインルクスedge 直付型」を、図書館本館に「ラインルクスedge 埋込型」を納入しました。ラインルクスedgeは、均一な面発光によって柔らかな光のラインのみが目につくよう設計されたLED照明です。直付型は天井面にも光が届く十分な照度を得ながらも、学習の妨げとなるグレア（まぶしさ）を抑

えられるのが特長です。さらに、直付型、埋込型ともに器具の端部まで明るく光ることから、器具を連結しても継ぎ目が目立ちにくく、空間に連続した光のラインを描くことができます。これにより「知の拠点」としてのインテリジェントな建築デザインを保ちつつ、交差しながらランダムにつながる光がリズムを与えています。

建築意匠に調和する自由度の高い照明器具の納入を通して「知の拠点」での学生の創造力湧出と、新たな発想の促進に寄与しました。



青山学院大学 マクレイ記念館 様

【所在地】 東京都渋谷区渋谷4-4-25
【設計・監理】 清水建設株式会社
【構造・規模】 S造 7F
【延床面積】 16,731㎡

*1 基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物。「ZEB」とは「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル」を指す。*2 「Building-Housing Energy-efficiency Labeling System」の略称。

照明のLED化と無線制御システム「LiCONEX」の導入で電気代26%減を実現

昭島市本庁舎 様（東京都）



「お話を伺った方」
総務部 総務課総務係長
新野 真弘 様

従来の照明における課題は電気料金と実用性

一 まず、従来の照明にどのような課題を感じていたのか教えてください。

新野様 電気料金が高騰する中でコストを抑えるという課題はありますが、そもそも蛍光灯を利用して、次々に交換時期を迎えるようになりました。その都度交換の手間や費用が発生し、大きな課題となっていました。

また、本市でも昨今の電力不足による国や電力会社からの節電要請に対しては、照明の間引きを実施していましたが、照明の間引くためには実際の照明を抜き取る作業に手間と費用がかかります。さらに、照明の光が当たりにくい場所ができて、目に負担をかける可能性があるという問題もありました。

一 照明の交換や節電を検討される中で、実際にライコネックスの導入に至ったきっかけを教えてください。

新野様 昭島市では、照明設備の老朽化や節電対策以外にも、地球温暖化防止対策の一貫で「令和12(2030)年度までに市の温室効果ガス総排出量を75%削減(平成25(2013)年度比)」するという、「2030年カーボン25」という目標を掲げています。この実現に照明のLED化が貢献するのではないかと考え、導入を検討しました。

節電などの話が出るようになったのはコロナ禍の後くらいですが、令和4年3月に昭島市の地球温暖化対策実行計画の策定を契機に、本庁舎の照明のLED化を具体的に進めることになりました。

決め手は照明の超効率化。環境にも人にも配慮した照明環境づくりを目指して

一 課題解決に向けて照明を選定する際、どの

ライコネックス

ようなプランを検討されましたか。
新野様 当時は照明自体を間引いている状況だったので、他の企業様からのご提案は、間引き後に残った照明をLED化するというものばかりでした。その中で、アイリスオーヤマ様からの提案内容は、照明を間引くのではなく、スケジュール機能による自動調光で超効率化し、節電対策にもなるというものでした。

市の本庁舎ともなれば、平日には多くの来庁者がいます。照明を短期間で交換するために、比較的に来庁者に影響が少ない場所では平日に作業、執務エリアやホールなど多くの人が出入りするような場所では休日や祝日を利用して交換していく、というようにエリアを分けて進めました。

一 運用開始後には、どのような変化を実感されましたか？

新野様 従来の照明からLEDに変わったことで、明るさは格段に変わりました。また、

化することによって、無理なく導入できる点も大きな決め手になりました。

施工から導入までは半年とスムーズ。導入後は約26%の電気代削減を実現

一 運用開始までは、どのようなスケジュールで進みましたか？

新野様 通常、この規模の設備を導入するには予算組みから検討、施工・運用開始まで長い期間がかかりますが、今回は施工・運用開始まで半年かかりませんでした。決定してからテンポ良く進んだのは、非常に助かりましたね。

結果として、令和4年以前の1年間との比較で、約26%の電気代削減に至りました。大きな数字ではありますが、まだまだ調光が必要なシーンはあると考えているので、この26%というのはあくまでも通過点としての成果。システムをより効率的に活用すれば、さらに削減できと思っています。

一 エリアごとに工夫して調光されているとのことですが、実際、タブレットでどのように運用・操作されていますか。

時間帯によって照明が不要になる場所の消灯時刻をあらかじめ設定できるだけでなく、例えば設計図など紙面上の細かい作業・確認を行う部署のエリアでは照明を明るめに設定したり、逆にパソコンなど電子機器を常時利用する部署のエリアでは画面反射を考慮して明るさを抑え気味にしたりと、細やかな設定ができる点がとても便利だと感じています。さらに、来庁者が多い時間に明るくするなど、時間帯に合わせた自動スケジュール制御も可能ですから、今後の効果的な節電対策として検討しています。

結果として、令和4年以前の1年間との比較で、約26%の電気代削減に至りました。大きな数字ではありますが、まだまだ調光が必要なシーンはあると考えているので、この26%というのはあくまでも通過点としての成果。システムをより効率的に活用すれば、さらに削減できと思っています。

操作性の良さを実感し、他の公共施設のLED化も検討

一 エリアごとに工夫して調光されているとのことですが、実際、タブレットでどのように運用・操作されていますか。

新野様 タブレットの画面をタッチするだけで調光できるので、本当に操作が簡単ですね。調整しやすさを実感します。時には、職員の体調によって明るさを調整してほしいという声が上がリ、対応することもあります。そういう時に、端末一つですぐに明るさを調整できるのは助かります。

一 他の施設のLED化など、次の施策は検討されていますか？

新野様 他の公共施設でもLED化を実施する案が出ています。自治体では庁舎以外にもさまざまな公共施設を管理しています。まだLED化できていない設備でも活用を検討したいですね。

次の施策という意味では、庁内でのライコネックスの認知が十分ではないと思うので周知を進め、より消費電力の削減に努めていきたいと思っています。

■納入器具

- ・無線制御システム LiCONEX
- ・LED一体型ベースライト ・直管LEDランプ
- ・非常灯 ・誘導灯 ・ダウンライト
- ・スポットライト ・道路照明 ・住宅照明
- ・LED電球

アイリスオーヤマの無線制御システム

ライコネックス

LICONEX

詳細はこちら

庁舎でのライコネックスの導入メリット

① 省施工で導入効果を即実感

調光信号の配線工事が不要な無線方式の制御システムのため、一般的な有線調光システムや無線調光システムと比べ、施工の負担減と工期短縮ができます。

② 各エリアで明るさを調節

灯具にグループを割り当て、各エリアに合わせて自在に調光することが可能です。設置後に空間用途やレイアウトが変わっても柔軟に対応できます。

③ 時間に合わせて自動制御

年間スケジュール・曜日・時間帯に合わせて調光・調色を自動制御できます。最適な明るさ・光色に設定し、空間の快適さを保ちながら消費電力を削減します。

シンプル構造で導入しやすい

照明器具交換

ベースモジュール(親機)設置

取り付け作業完了

INTERVIEW

6

5

CASE STUDY

お客さま事例

清掃ロボットの導入で、業務転換に成功。 人手不足とコスト削減を一気に解決

社会福祉法人創生会 様
〔所在地〕 福岡県

次世代につながる介護福祉事業を目指す、介護福祉事業グループの社会福祉法人創生会 様。高齢者施設に「Whiz i アイリスエディション」を導入しました。清掃業務をロボットに置き換えることで、スタッフが介護業務に注力できるようになったほか、入居者さまの刺激にもなっています。導入前には「ロボットが入居者にぶつかりそう」「清掃の負担は軽減されないのでは」など否定的なスタッフの意見もありましたが、現在では「あるのが通常」という認識に変化。「変化すること」への抵抗感が和らぐというメリットもありました。

■主な納入器具

・Whiz i アイリスエディション



ロボティクス

アイリスモデル電子黒板で 教育現場のICT化を促進

和歌山県和歌山市教育委員会 様
〔所在地〕 和歌山県

和歌山県和歌山市教育委員会 様は、ディスプレイタイプの「電子黒板」601台を、和歌山市内の教育施設53か所に導入されました。文部科学省が打ち出した教育現場におけるICT化や、GIGAスクール構想を推進するための施策です。シンプルでわかりやすい機能とデザインにより、実際に導入した小学校からは「使いやすく、機能も複雑ではないため子どもたちでも操作できる点ありがたい」「黒板に書くと思づらい図形や表なども、スタンプのように簡単に書いて便利」などの声が挙がっています。

■主な納入器具

・電子黒板



電子黒板

プラズマ除菌システム導入で 多発していたカビの増殖を抑制

株式会社ニシムタ 様
〔所在地〕 鹿児島県

鹿児島県を中心にスーパーセンターなどを展開する株式会社ニシムタ 様は、空間除菌システム「PlasmaGuard PRO™アイリスエディション」をニシムタ 吉野店に導入されました。スーパーセンターでは、寒暖差がしやすい食品用冷ケース上の天井付近でカビが多発していました。床や天井も含めて空間全体を除菌できる「プラズマガード」設置後は、試験数値のみならず目視でも明らかなカビの抑制効果を実感され、より快適な店舗空間の提供が実現できました。

■主な納入器具

・PlasmaGuard PRO™アイリスエディション



エアソリューション

売場の雰囲気に合わせて什器で 快適な空間とお客さまの満足度アップに

株式会社ヒマラヤゴルフ 福岡粕屋店 様
〔所在地〕 福岡県

ゴルフ専門店のヒマラヤゴルフ福岡粕屋店 様は、店舗オープンにあたってアイリスオーヤマ製の店舗什器、モニター、プロジェクターなど一式を導入されました。

導入のメインは店舗什器。クラブからウェアまでさまざまなゴルフ用品を扱う店舗に、売場ごとの雰囲気に合わせた什器を導入することで、快適な空間を作り出しました。また、ゴルフシミュレーターを備える試打コーナーには、高輝度のプロジェクターを設置。迫力ある映像でクラブの使い心地を体感でき、お客さまの満足度アップにつながっています。

■主な納入器具

・店舗什器 ・TVモニター ・プロジェクター
・人工芝 ・オブジェラッピング



什器・内装

NEW
TOPIC

エネルギーマネジメントシステム事業に本格参入 温室効果ガス排出削減量、政府目標の7%^{*1}に貢献

電力エネルギー利用を最適化する EMSソリューション

アイリスオーヤマ株式会社は、施設内各設備のエネルギー利用を最適化して省エネに導く

EMS(エネルギーマネジメントシステム)事業に本格参入します。

エネルギーの可視化、削減、創出・蓄積、調達をワンストップで完結し、

運用コンサルティングまでを含めた総合エネルギーマネジメントサービス「ENEverse」により、

省エネの実現を通じてお客さまとの包括的なコミュニティを確立します。

エネバース
ENEverse

EMSソリューション
「エネバース」
Webサイト



※店舗でのソリューション例です。※開発中のため、予告なく内容が変更になることがあります。

可視化・省エネ・創エネ・調達を ワンストップで実現

アイリスオーヤマは、施設内各設備のエネルギー利用を最適化して省エネを導くEMS(エネルギーマネジメントシステム)事業を本格化し、建物の総合エネルギーマネジメントサービス「ENEverse(エネバース)」を開始しました。

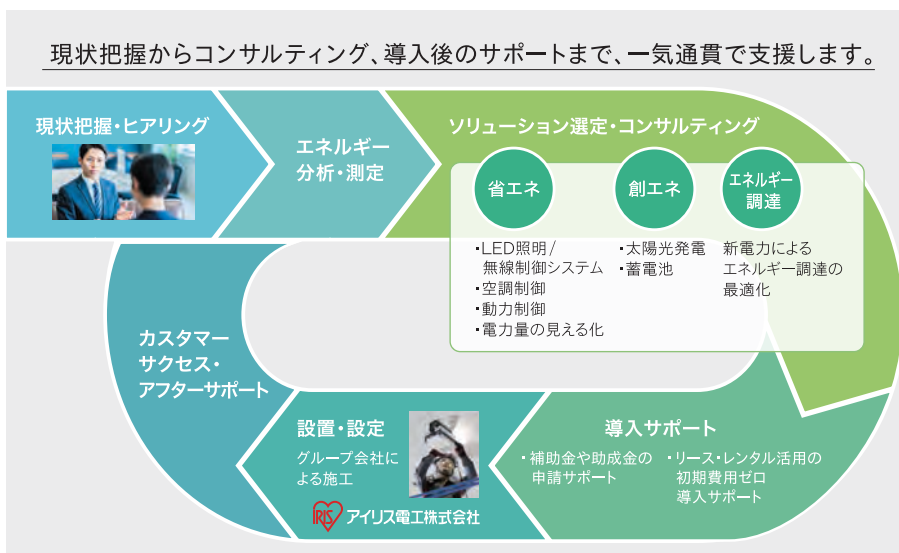
政府は、2030年時点で温室効果ガス排出削減率を2013年から46%削減^{*2}することを目指しています。この目標を達成するため、政府は建物内の快適な環境を保ちながら年間の一次エネルギー収支をゼロにするZEB化^{*3}を推進するなど、国内企業や団体に對してさらなる省エネを促しています。一方、省エネ対策製品が多様化して関連サービスが複雑になっていることで、省エネへの取り組みが鈍化していることも懸念されています。

当社は、2010年に高効率LED照明の開発・製造に本格参入して以来、2016年に照明制御事業、2023年には空調制御事業を展開し、時代ごとに変動する社会課題の解決に取り組んできました。今回参入するEMS事業の「エネバース」は、LED照明、LED照明制

御、空調制御など、従来、当社の事業ごとに展開してきた各ソリューションを、お客さま個々のニーズや環境、状況に応じて最適に組み合わせ、提案・分析・改善のコンサルティングから導入・アフターサポートまでをワンストップで行う総合エネルギーマネジメントサービスです。一気通貫で行えることで、お客さまの手間を省くだけでなく、建物全体で確実な省エネ、管理が可能です。

また、2025年半ばには「エネバース」の

中枢となるクラウドサービスの開始を計画しています。クラウドを通じて複数の設備の状態を保守・管理でき、多角的にデータ分析や改善提案などのコンサルティングを行えるため、さらなる省エネの推進を支援できるようになります。加えて、段階的に太陽光発電や蓄電池を用いたエネルギー創出、新電力によるエネルギー調達の最適化といったサービスの拡充を予定しており、国内企業や団体の省エネ対策や環境負荷軽減策をサポートします。



2030年、温室効果ガス排出量 削減目標の7%^{*1}相当に貢献

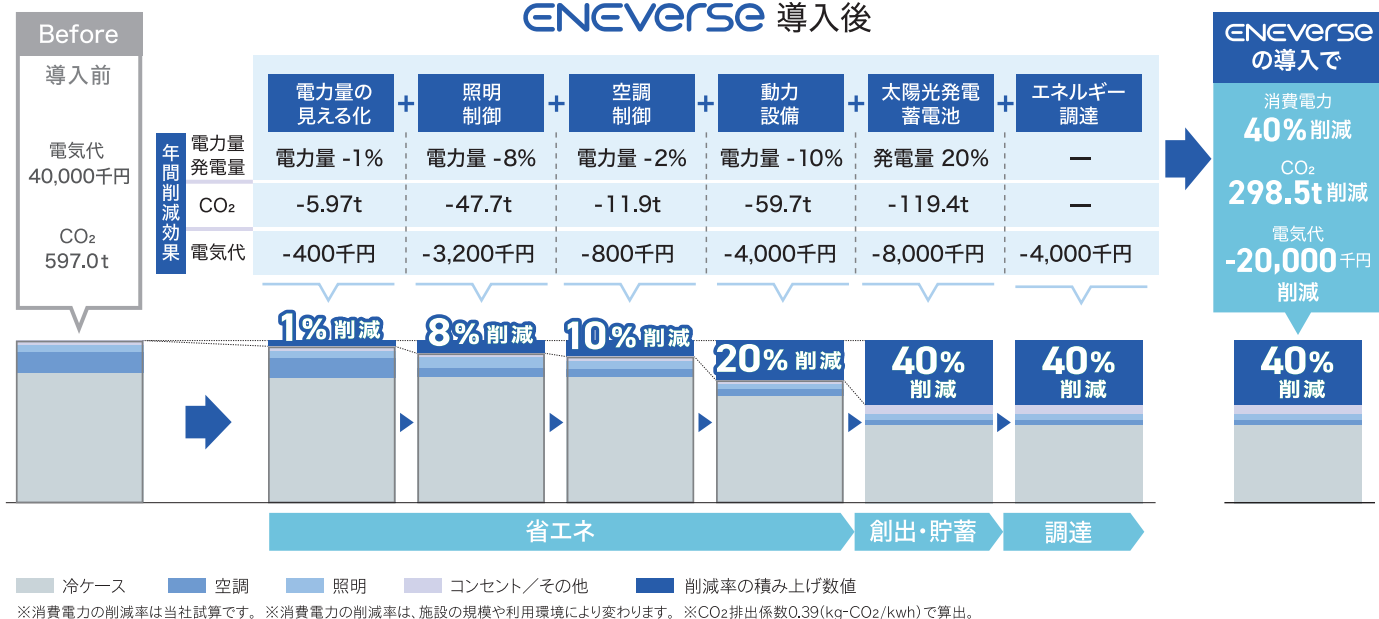
アイリスオーヤマは、段階的に製品・サービスを拡充していきます。「エネバース」を普及させることにより、2030年には当社製品および同サービスを通じた温室効果ガス排出削減量は、政府が目標とする2013年比

46%^{*2}のうち7%相当^{*1}、エネルギー起源のCO₂削減量は政府目標である45%のうち10%相当^{*1}に貢献します。その中枢となるLED照明事業では、高効率照明にとどまらず、照明1台ごとの明るさや時間帯で明るさをコントロールできる無線制御システム「ライコネックス」により照明の高効率化に加え、建物に応じて最適な省エネ対策の方法

をご提供します。さらに、2024年に発売した「多回路電力モニター」では、施設の使用電力量を電気系統や設備ごとに可視化することで、確実な節電を促します。

「エネバース」でお客さまとの包括的な関係性を確立することで、省エネに対する課題を解決するとともに、日本の環境問題の解決に挑戦し続けます。

ENEverseによる消費電力量シミュレーション (一般的な店舗での削減イメージ)



*1: 当社製品の販売数量より年間削減電力量(kWh)を算出し、CO₂排出量(値t-CO₂)に換算した値をもとに算出。*2: 環境省「地球温暖化対策計画(令和3年10月22日閣議決定)」。*3: 環境省「ZEB PORTAL(ゼブポータル)」。

NEW
TOPIC

スマートフォンから照明環境の設計・設定が可能 省エネできる「LiCONEX LiTE」を発売

照明をもっと省エネにするお手頃パック

無線制御システム
ライコネックス ライト

LiCONEX LiTE

設計・設定がシンプルなので、
小規模空間でも大きなコストメリット

項目	従来光源	非調光LED照明 (100%点灯)	一般的な 無線調光システム	LiCONEX LiTE
電気代	製品代	50%削減	60%削減	70%削減
設計・設定費	製品代	製品代	製品代	製品代
総コスト	高	中	中	低

※1日あたり14時間、照明器具100台、年間稼働日数365日で7年間使用した場合を当社にて想定、試算したシミュレーションです。

灯数が少ない施設でもコストを抑えて 照明制御を導入できる

小規模空間で照明の大幅な省エネができる無線制御システム「LiCONEX LiTE(ライコネックス ライト)」を発売しました。アイリスオーヤマは2017年に照明の明るさや調色を柔軟に調整できる「ライコネックス」をリリースし、これまでに約5600か所^{*1}の施設で採用されました。一方で照明の台数が少ない小規模空間では導入費用の点から省エネによるコストメリットが出にくいのが課題でした。「ライコネックス ライト」は照明100台以下の施設向けにシステムをパッケージ化。スマートフォンからでも照明設計やグループ設定ができるようにしたことで導入費用を抑えました。これにより、小規模店舗、コンビニエンスストア、教室、会議室など多くの場所で照明制御を手軽に導入していただけるようになりました。

「ライコネックス ライト」の特長は、専用スマートフォンアプリから照明のグループ分けや設定を簡単にできる点です。「おまかせ設定」モードを利用することで、施設別に最適な照明設定を一括で反映でき、省施工・短工期での導入が可能。一般的な無線制御システムに比べて工期を約52%^{*2}削減できます。

また、時間帯ごとに自動調光する「スケジュール制御」や、周囲の明るさや人の在室を感知して調光する「センサー制御」などの各種照明設定が可能です。無駄な点灯を減らすことで、従来のLED照明からの置き換えでも、約51%^{*4}の節電が見込めます。

無線制御システム「LiCONEX LiTE」の
詳細はこちらからご覧いただけます ▶



LiCONEX LiTEのポイント

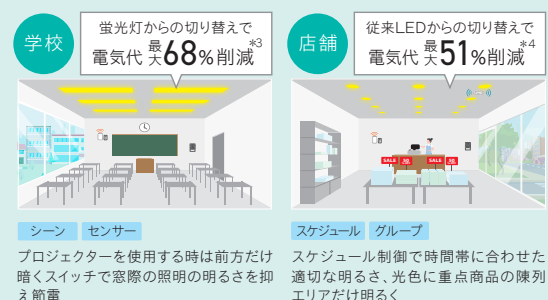
① スマートフォンから照明の設計・設定が可能

照明の配灯から設置現場での調光設定、グループ設定、スケジュール設定をすべて専用アプリで設定できます。



② さまざまな施設の「省エネ」「快適」を実現

各施設で省エネ効果を実現するのに最適な照明設定を「おまかせ設定」で簡単に反映できます。



^{*1} 2024年12月1日現在。 ^{*2} 計100台の照明器具を使用した制御システムを設計。設定した場合を想定した作業時間。当社試算。 ^{*3} 蛍光灯から最新のライコネックス対応照明器具に交換し、照明制御を適用した場合。当社試算。 ^{*4} 当社2013年製のLED照明器具を最新のライコネックス対応照明器具に交換し、照明制御を適用した場合。当社試算。

NEW
TOPIC

清掃業務の効率化を実現する 初の自社製造法人向け水拭きロボット「BROIT」

初の自社製造

強力な床洗浄で質の高い清掃を実現する
スクラバーロボット

BROIT
プロイト

自律走行と高い清掃力で 日本の清掃業界に貢献

アイリスオーヤマは、昨今の清掃業務における作業者の負担軽減や人手不足に対応するため、当社で初めて自社の大連工場(中国・遼寧省)にて製造するDX清掃ロボット「BROIT(プロイト)」を発売します。

国内の業務用清掃ロボット市場では、高齢化や多様化が著しい作業者の負担を軽減する手段の一つとして、当該製品の導入ニーズが拡大しています。今後もロボットを用いた清掃業務の自動化や省人化への需要が高まることから、継続的な成長が見込まれています。

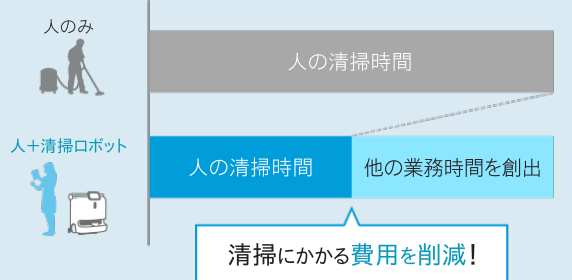
今回発売する「BROIT」は、水拭き清掃ができる自律走行型ロボットです。スーパーマーケットや介護・医療施設のセラミックタイル、ビニル床などの水拭き清掃に加え、乾いた床の除塵清掃も可能です。さらに自社製造による早急な品質改善やメンテナンスなどのアフターサービス体制で、より安心してお使いいただけます。

「BROIT」を自社工場で製造することで、タイムリーな仕様改修や品質改善、コスト調整のほか、メンテナンス体制の一元化が実現します。今後も清掃業務における課題解決のほか、ロボットを活用したアイデアで、2024年問題を起因とする市場全体のDX化や業務環境改善に貢献します。

「BROIT」の詳細はこちらからご覧いただけます ▶



〈特長〉清掃コスト削減と業務効率化を実現



■ 清掃可能な床材質の例



■ 清掃可能な汚れの例



NEW
TOPIC

清掃業務のDX化を支援 中小企業省力化投資補助事業が開始

DX清掃ロボット 「Whiz i アイリスエディション」が 対象製品に

「中小企業省力化投資補助金」とは、人手不足解消に効果的なIoTやロボットなどの設備導入にかかる経費を、経済産業省が補助するものです。中小企業の経済的負担を軽減して省力化投資を促進するとともに、売上拡大や生産性向上から賃上げにつなげることを目的としています。

アイリスオーヤマのDX清掃ロボット「Whiz i アイリスエディション」は、主に宿泊業・飲食サービス業などを担う中小企業の清掃業務に大きな省力化効果が見込める製品として、補助金の対象に採択されました。当社では、申請の負担が大きい補助金申請業務の一部をサポートする「ロボット補助金サポートサービス」を開始。導入後の実証結果報告など伴走支援を行うことで、導入から活用までを円滑化します。

中小企業省力化投資補助金の活用で
最大1,500万円の補助
※1

ウィズアイ
Whiz i
IRIS EDITION
©IRISOHYAMA/Softbank Robotics

[対象機種]

補助金概要

交付率	1/2	申請業務	共同申請	通常補助金の1/4の工数で申請できます
購入方法	現金販売・レンタル(1年)	対象業種	小売業・卸売業・宿泊業・工場・飲食業・ビルメン・スポーツ施設・カラオケ施設	
支給要件①	資本金が従業員数のいずれかが規定を下回る中小企業であること	「Whiz i アイリスエディション」補助金サポートサービスについて		
支給要件②	対象業種であること			

※1 賃上げ要件を達成した場合、1,500万円に補助上限額を引き上げ。 ※「Whiz i」の名称、ロゴはソフトバンクロボティクス登録商標です。

NEW
TOPIC

滞在時間の見える化と車両管理の自動化により 物流2024年問題の課題解決に

AIカメラで物流業界における ドライバーの業務効率改善を促進

物流2024年問題の対策として「車番認証カメラ」を発売しました。ドライバーの労働時間規制など改正された改善基準告示が適用されたことにより、運送能力の低下が懸念されています。今回発売した車番認証カメラでは、車両ナンバーの自動読み取りによる車両の滞在時間の見える化や、管理ソフトウェアとの組み合わせで車両の入退場管理が可能となりました。AIカメラ事業を通じて、荷待ちや荷役作業にかかる時間を把握し、物流業界の業務効率改善に貢献します。

車番認証カメラの詳細はこちら▶



ナンバープレートを画像認識し
車両の入退場時間を自動計測

特長1
高い認証率

特長2
ナンバー読み取り機能付カメラ

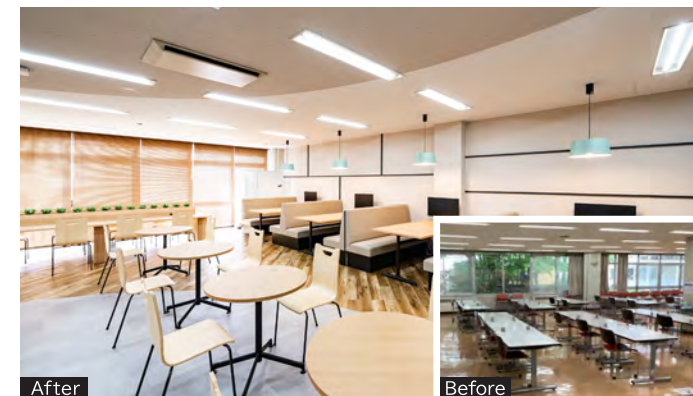
特長3
管理ソフトウェアで車両管理実施

お客さま事例

マグネットスペースで コミュニケーションを活発に

麒麟ビール株式会社
北海道千歳工場（北海道）

近年、採用や雇用の強化、職場環境改善の一環として増加している工場内の食堂のリノベーション案件。
今回は、ビールや発泡酒の製造等を行う麒麟ビール株式会社の北海道千歳工場が、2024年に実施した食堂改装プロジェクトをご紹介します。



改装の背景と課題

2022年に発足した「ありたい姿わくわくプロジェクト」は、20年後の2042年に同社のありたい姿をビジュアル化させるためのプロジェクトです。進める中でメンバー内で出てきた共通の課題キーワードは「コミュニケーション」でした。各部署同じ工場内で働いているにもかかわらず、それぞれの拠点が離れていることもあり、社員同士のコミュニケーションが難しい状況でした。そこで、課題解決の一步としてまずは多くの従業員が利用し、交わることができる食堂の改装企画が立ち上がりました。

課題解決のための工夫

「行きたい」と思わせる魅力的なデザインのほか、食事以外にも使用できる多目的な空間、和気あいあいと過ごせる空間を意識的に創ることで、自然と人が集まるマグネットスペースを実現しました。

特にデザイン面では食堂中央にある柱を大きな木の幹に見立て、天井に木の影を、床には葉を描き、その周りにイスを並べ、まるで木陰に集まって話すように感じられるデザインを取り入れました。

従業員からは「食堂がおしゃれになった」、「前よりもリラックスして休憩できるようになった」などという声が上がっています。



【インタビュー紹介】

麒麟ビール株式会社
北海道千歳工場
エンジニアリング環境安全担当
岡野 辰哉 様



事例の詳細はこちら▶



[1990年竣工]

鳥栖工場 (佐賀県鳥栖市)

アジア圏への輸出と西日本での食品関連の
拠点を目指して新たに食品の生産を開始

佐賀県鳥栖市の鳥栖工場は1990年に竣工し、プラスチック収納や生活用品の製造を中心に拡大してきました。当社が2013年に東日本大震災の被災地支援と農業復興を目的に食品事業に参入してからは、西日本における食品の生産・物流拠点としての役割を担っており、2024年7月にはASEAN含むアジア圏への輸出拠点になるべく、パックごはんと炭酸水の本格生産を開始しました。

現在、海外での日本の食品需要が高まっているため、輸出額は年々伸長し、農林水産省では「産地生産基盤パワーアップ事業」*1を行うなど食品の輸出を後押ししています。鳥栖工場では、同事業を活用してパックごはんの設備導入と、炭酸水の新ブランド「CRYSTAL SPARK (クリスタルスパーク)」の国内工場での初回生産を進めています。

当社は今後、国内7拠点の食品工場の生産設備を増設することで生産体制を強化し、日本の食文化の発展に貢献していきます。

鳥栖工場



パックごはん
低温製法米の
おいしいごはん®



炭酸水
CRYSTAL SPARK
(クリスタルスパーク)

*1 農林水産省「米をめぐる関係資料」(令和5年3月)参照。

Present

CRYSTAL SPARK

クリスタルスパーク

炭酸水 無糖 プレーン
500ml×24本

毎日が輝く強炭酸水

クリスタルスパークは自然の恵みから生まれた炭酸水。
心地よい刺激と爽快感が口いっぱいに広がり、
日常を特別な瞬間に変えていきます。

Point 1

強炭酸

天然水に世界最高峰
の炭酸ガスボリューム
で極限まで炭酸をプ
ラス。

Point 2

自然本来のおいしさ

必要最低限のろ過や
殺菌処理により、天然
水本来の安心で美味
しい味をお届け。

Point 3

各種フレーバー

季節ごとの
フレーバーが
続々登場!



※今回のプレゼント対象商品には含まれておりません。



アンケートにお答えいただいた方に抽選でプレゼント!

クリスタルスパーク 炭酸水 無糖 プレーン
500ml×24本

抽選で
10名様に
プレゼント

応募はこちらから

応募の締め切りは 2024年12月27日(金)です。
<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/BtoBinformation28/enquete/>
※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



アイリスオーヤマ株式会社 BtoB 事業グループ

〒105-0013 東京都港区浜松町2-3-1 日本生命浜松町クレアタワー19F

建設業許可番号: 国土交通大臣 許可
・建築工事業(特・2) 第24732号
・土木工事業、舗装工事業、鋼構造物工事業、内装仕上工事業(特・3) 第24732号
・大工工事業、建具工事業、とび・土工工事業(特・4) 第24732号
・電気工事業(般・2) 第24732号
届出電気通信事業者 I-02-00944

●製品の色は印刷のため実際の色とは異なる場合があります。
●製品の仕様・発売日は予告なく変更することがあります。

本誌に掲載の写真・文章・イラストの無断転載はご遠慮ください。

本誌掲載内容、製品のお問い合わせは
TEL 022-253-7095

本誌掲載の詳しい内容は当社ホームページでご覧いただけます。

アイリスビジネスインフォメーション

検索



ビジネスの旬な情報や納入事例をお届けしています

アイリスオーヤマ BtoB事業グループ で検索!

